

ここぐらし

TOKUSHIMA KOMATSUSHIMA KOKO-GURASHI

ここで
そだつ

ここが
すき

ここから
はじまる

ここで
はたらく

ここで
ずっと

やっぱり、小松島。ずっと、小松島。

この街で描きたい わたしと、家族の、未来の姿。
ずっと暮らしていこう わたしと、家族と、小松島で。
これからも、どうぞよろしく。

ココで、ずっと。

婚活・妊活



- ### 1 婚活イベント

徳島県やマリッサとくしまと連携し、出会いの場を創出します。
- ### 2 結婚新生活支援事業

夫婦ともに39歳以下の新婚夫婦の方に、住居の取得や引っ越しなどの費用の一部を補助します。

最大 **60万円**
- ### 3 おひさまこうのとりNEXTサポート事業 (不妊治療費助成)

保険適用となる不妊治療のうち、生殖補助医療を受けた夫婦に費用の一部を助成します。

1回上限 **5万円**
同一年度内2回まで

妊娠・出産・産後



- ### 4 子どもはぐくみ医療費助成事業

子どもが健康保険などで医療を受けた場合の医療費の自己負担分を助成します。
- ### 5 妊娠判定費助成事業

妊娠判定のため医療機関を受診した費用を助成します(医療保険適用分は除く・所得要件あり)。

1回上限 **1万円**
同一年度内2回まで
- ### 6 不妊症治療費等助成事業 (不妊症検査・治療費助成)

不妊症の検査及び治療に対する費用を助成します(医療保険適用分のみ)。

1回上限 **5万円**
同一年度内2回まで
- ### 7 マタニティくらぶ(妊婦教室)

助産師・管理栄養士が安産に向けた体づくりなどの講習を実施しています。個別相談もできます。
- ### 8 産後ケア事業

18歳に達する年度末まで
産後1年未満のお母さんに、乳房ケアを含む助産師等による来所型・訪問型・宿泊型支援(有料)の費用を助成します。

乳児1人につき上限 **2,500円**
5回まで
- ### 9 おひさま相談支援及び出産・子育て応援ギフト金事業

妊娠期から出産・子育てまでの相談支援と応援ギフト金により経済的負担の軽減を図ります。

応援ギフト金
妊婦1人あたり **5万円**
子ども1人あたり **5万円**
- ### 10 子育て支援アプリ 母子モ「おひさま」

小松島市の子育て支援アプリ。
- ### 11 母子健康包括支援センター「おひさま」

助産師・保健師・管理栄養士による健康や子育てに関する相談支援を実施しています。

小松島市の取り組みが紹介されました

小松島市の「子育て世代をターゲットとしたまちの魅力向上による賑わい創出事業」が地方創生を推進する取り組みとして、内閣官房の作成する事例集『デジタル田園都市国家構想交付金を活用した女性活躍の取組事例集』(2023年3月)、『デジタル田園都市国家構想交付金を活用した妊娠・出産・子育てに関する取組事例集』(2023年12月)にて紹介されました。

子育て世代に選ばれる街づくりを推進しています！

詳しくはこちら



小松島市

内閣官房・内閣府総合サイト

pickup!

4

子どもはぐくみ医療費助成事業

自己負担の無償化を拡充!

これまで、18歳に達する日以後の最初の3月31日までのお子様の保険診療にかかる自己負担分の医療費助成ついて、3歳以上の方の通院・6歳以上の方の入院の場合には一部負担(※1レセプトあたり600円まで)が必要でしたが、令和6年4月診療分から一部負担(※同)が必要なくなります。

令和5年度

受給者証区分	入院	通院
18歳の年度末まで	自己負担あり (1レセプト600円まで)	自己負担あり (1レセプト600円まで)
中学校卒業まで		
6歳から小学校卒業まで		
3歳から5歳まで	自己負担なし	自己負担なし
0歳から2歳まで		

令和6年度

受給者証区分	入院	通院
3歳から18歳の年度末まで	自己負担なし	自己負担なし
0歳から2歳まで		

“ここで、ずっと、暮らしたい” そう思ってもらえる街を目指して、
小松島市では出会いから結婚、出産、子育てまで
各ライフステージにあわせた切れ目のない支援を通して、あなたの暮らしをサポートします。

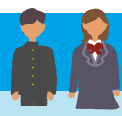
就学前



小学生



中高生



12

乳幼児 相談事業

保健師・管理栄養士が身体計測や育児相談を実施しています。

17

ファミサポ利用料助成

地域の中で育児を相互援助します。利用料の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ります。

小学校6年生まで

1時間につき
500円
2人目以降は
無料

20

中学生ヘルメット 購入補助事業

市内の中学校に通う中学1年生に補助します。

1人あたり
300円

13

副食費無償化事業(幼)

幼稚園、認定こども園などでの副食費を無償化。

1カ月上限
4,700円

14

副食費無償化事業(保)

保育所(認定こども園)での副食費を完全無償化。

15

子育て応援教室『HUGくみ』

保育士等資格を有する利用者支援専門員が子育てのさまざまな悩み相談をワンストップで支援。

18

学校給食における 地産地消・食育推進

米、野菜、ちくわなどの練り製品、ちりめんなど積極的に小松島産を使用。特に小松島産の米を使った「米粉パン」はもちもち感があり、子どもたちにも好評。また、小松島市で無農薬栽培された米や小松菜を使い、オーガニック給食の推進に取り組んでいます。

中学3年生まで

高校卒業まで

小学校入学前まで

小学校6年生まで

16

病児・病後児保育事業

自宅保育が困難な病気の子どもを安心して預けられる場(小児科など)を提供しています。

1日
1,800円

19

入学祝い金

小松島市に1年以上居住している母子家庭または父子家庭の方を対象に助成します。

小学生
5,000円
中学生
8,000円

担当課

企画政策課

● TEL.0885-32-2127

保健福祉部 保健センター

● TEL.0885-32-3551

児童福祉課

● TEL.0885-32-2114

教育政策課

● TEL.0885-32-3813

学校課

● TEL.0885-32-3811

保険年金課

● TEL.0885-32-4120

※各補助や助成には、それぞれ受給条件があります。詳しくは担当課までお問い合わせください。

pickup!

10 子育て支援アプリ 母子モ[おひさま]



ダウンロードはこちら



※アプリの利用料は無料(通信料は利用者負担)。

母子手帳アプリ母子モ[おひさま]は、妊娠中の体調や出産・子育ての記録、予防接種のスケジュール管理などをスマートフォンやタブレット端末、PCで行うことができます。紙媒体の母子健康手帳のサポート役としてご活用ください。アプリ内では、小松島市の子育て情報も順次配信しています。

■問い合わせ
保健福祉部 保健センター
TEL.0885-32-3551

pickup!

11 母子健康包括支援 センター『おひさま』



『小松島版ネウボラ』として、妊娠期・出産期・育児期を通じてママやそのご家族が、より健やかに過ごすことができるよう、助産師・保健師などが母子に寄り添ったきめ細かな支援を実施し、みなさまの子育てを応援しています。

■対象妊婦、子育て中の男女
■日程平日8:30~17:15
■場所小松島市小松島町字新港9-10(小松島市保健センター内)
■問い合わせ母子健康包括支援センター『おひさま』 TEL.0885-38-7500



pickup!

15 子育て応援教室 『HUGくみ』



利用者支援専門員と保育士が子育てに課題や悩みをお持ちの方に専門的な支援を行っています。ご家庭一組を継続的に、ワンストップでサポートしています。相談はオンラインでも受け付けていますので、ご活用ください。

※事前予約制・1家族ごと個別に相談対応。
■対象未就学児向け施設に通っていない児童(0歳から5歳まで)及び対象児童を養育する保護者
■日程火・木曜9:00~15:00
■場所児童福祉センター(日和田島保育所)小松島市和田島町字明神北130
■問い合わせ子育て応援教室『HUGくみ』TEL.0885-39-1273



ココで、 はたらく。

働く場所、
働き方、働く環境。
この3つを一体的に
捉え、あらゆる面から
サポートします。



PLACE
働く場所

企業誘致を推進!!

4つの企業をあわせて、雇用枠約300名を創出! 現在は、そのうち約200名の地域雇用に
つながっています。県に登録のあるサテライトオフィスでは最大級の雇用!

アウト
ソーシング

株式会社うるるBPO 徳島センター

アウトソーシング事業を展開する『うるるBPO』(本社・東京都中央区)。BPOサービスはデータ入力・データスキャンを中心に、DM発送・システム開発など多岐に渡り、2023年1月現在で取引社数約5,400社に対し、ビジネスの効率化・合理化を支援しています。『うるるBPO徳島センター』は、契約書等の書類をデジタル化するスキャニングサービスに特化したオフィスで、2019年4月に開設されました。現在は約150名が働いており、このうち約7割がフルタイム勤務で、これまで小松島市にはなかった“オフィスワーク事務”という新たな働き口の創出になっています。



「ここで働きたい!」と思ってもらえるよう「徳島で一番お洒落なオフィスに」をコンセプトに設計された『うるるBPO徳島センター』。



居心地の良い休憩室。集中力が必要な業務なので、1時間半に1回10分間の休憩があります(この10分間は有給扱い)。

From staff



スタッフ 猪野さん 河野さん

服装や髪型、ネイルも自由な会社の雰囲気気に入っています。土日祝は完全休みだし、平日でも休日申請が可能なので助かります。

Top message



徳島センター スキャン部門 部門長 岡さん

オフィスで働くスタッフの平均年齢は約33~34歳で、うち8割が女性です。これまでに約10名が育休を取得し、復職率は100%です。

企業データ TEL.0885-38-9707
小松島市大林町字宮ノ本100-1

株式会社エスプールリンク 小松島エントリーセンター



社会課題や企業課題を新たな発想で解決する『エスプールリンク』。『ルビア』内にあるオフィスでは、コールセンターとして企業向けの採用事務の業務代行を行っています。「明るく、楽しく、前向きに。」をセンターのスローガンとして、スタッフが楽しく仕事に取り組める環境を整えています。

企業データ TEL.0885-35-2900
小松島市小松島町領田20
(ショッピングプラザルビア1F)

株式会社FBマネジメントグループ 徳島マーケティングBPOセンター



老舗企業に向けて幅広い経営支援を行う『FBマネジメント』。小松島市のオフィスでは、全国の企業の業務代行としてフルリモートで主に採用事務代行などを行っています。採用事務代行といっても高度な技術は必要なし。マニュアル化されているので初心者でも安心してスタートできます。

企業データ TEL.03-5846-9506
小松島市小松島町外開7-1
(旧・菊寿殿おがわ3F)

株式会社サウンドハウス 西日本物流センター・徳島コールセンター



楽器、音響機材や舞台照明を扱う日本最大級のオンラインストアです。2013年に新しい拠点として、物流倉庫とコールセンターを和田島に設立し、小松島市から全国へ商品を発送しています。また、市内のサウンドハウスホールではさまざまなイベントが開催され、文化振興にも貢献しています。

企業データ TEL.0885-38-1111
小松島市和田島町字松田新田143-1

HOW・SUPPORT

働き方・働く環境

どんな風に働きたいかを一緒に考え、サポートするとともに安心して働くことができる環境づくりを行っています。

働き方は∞あなたに合ったワークスタイルを提案

セミナーは、赤ちゃん連れでも参加OK!



暮らす環境や抱えている悩みは人それぞれ。「子育てしながらの働き方がわからない」「在宅ワークってどう始めるの?」「働きたいけどスキルがない」そんな気持ちをとにかく気軽に相談できる場所が『こまはた』です。働くことに関する相談やスキル習得のためのセミナー開催などを通して、あなたがあなたらしく輝ける働き方を一緒に考えます。

Canvaの使い方や在宅ワークに向けたスキルアップ講座など多種多様なセミナーを開催。

こましま働き方支援センター【こまはた】
TEL.080-2972-3880
小松島市小松島町新港19
(小松島みなと交流センター2F 交流スペースkocolo内)
開/10:00~15:00
休/土・日曜、祝日※不定休は、事前にホームページなどでお知らせ※木曜は「kocolo」休館のため、オンラインなどで対応可

こましま働き方支援センター『こまはた』でお待ちしております!



在籍するスタッフは子育てを経験した女性3名。自身もテレワークを取り入れながら柔軟に働いています。



学童保育

児童館

市内各地に15カ所

仕事などで保護者が日中家にいない小学生の子どもたちが放課後や学校休業日(土曜や長期休暇など)に安心して遊び、生活できる放課後児童クラブ(学童保育)や児童館を学校敷地内や近隣に設けています。

■学童12クラブ、児童館3カ所

■問い合わせ
保健福祉部 児童福祉課
TEL.0885-32-2114



ファミリー・サポート

子育てを応援してほしい人 × 子育てを応援したい人をマッチング!

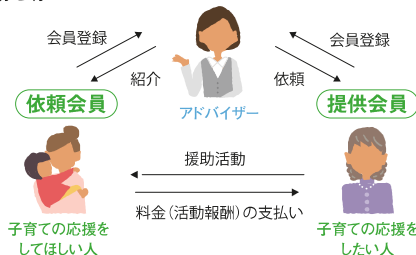
「育児の応援を依頼したい」「少し育児の応援ができる」という人が会員登録し、地域のなかで育児の相互援助を有料で行うものです。

■問い合わせ
徳島ファミリー・サポート・センター
TEL.088-611-1551



利用料金は1時間500円、より利用しやすくなりました!

ファミリー・サポート・センター



デジタルスキルを再習得! リスキングセミナー

Q. リスキングって?

A. 「新しいことを学び、身に付けて実践し、そして新しい業務や職業に就くこと」です。令和5年度、小松島市ではデジタルスキルに関するリスキングセミナーを開催しました。

Q. メリットは?

A. 生活や仕事におけるデジタルの知見やスキルの重要性は増えています。スキルがあることで働く幅が広がることはもちろん、小松島市に住み続けながら、全国の企業の仕事にもオンラインで従事できるなど、場所や時間にとらわれない働き方を目指せます。

Q. どうやって学ぶの?

A. 3ステップでリスキングを実現します。

Step1 セミナー参加

リスキングについてやデジタルリテラシーの習得方法、実践している人からの体験談などを聞き理解を深めます。

Step2 ITスキルを習得

オンライン学習サービス[MENTER(メンター)]を使って、ITリテラシーを向上します。

Step3 リモートで職務体験(インターン)

リモートで就労を目指す人のために、テレワークによるデジタル職務体験の機会を提供します。

参加者の声



松島葉子さん(40代女性)

ITスキルの基礎は動画やマンガでていねいに教えてくれます。1つのテーマが短時間で区切って学べるので、スキマ時間に視聴でき続けやすかったです。苦手意識が強い方も難しく考えずトライしてみたいと思います。



林佳澄さん(20代男性)

最終目標が『就職する』ことだったので、Step3にインターンがあることはとても魅力的でした。AI講座はとても為になり、AIを使えるのと使えないのとではすぐ差が出るな、というのを実感しています。

■問い合わせ 総務部 企画政策課
TEL.0885-32-2127



子どもとの時間も大切に過ごしたい

ママや子どもたちが自然と集まる『スマイルピア』



『スマイルピア』では、親子でともに楽しい時間を過ごしてもらうため、さまざまなイベントを企画しています。また、地元ママたちとの交流の場として育児の悩みや情報交換の場としても活用できます。

子育て支援センター スマイルピア
TEL.0885-33-4143
小松島市小松島町領田20(ショッピングプラザルピア2F)
対象/0歳~6歳の未就学児とその保護者
開/10:00~16:00
休/日曜、祝日、ルピアの定休日(振替開所日あり)

ココで、 そだつ。

教育環境の充実にも力を入れている小松島市。市と地域が一体となって、さまざまな授業や催しを実施し、子どもたちと一緒に保護者も成長できるような幅広い学びの場を創出しています。



現南小松島小学校敷地に 再編校を新築。学び育つ学校へ



市では、新たな時代を生きる子どもたちに「生きる力」を育む教育環境の実現をめざし、よりよい学校づくりに取り組んでいます。令和4年2月に策定した「小松島市立学校再編実施計画」に基づき、小学校の再編をすることとしており、現在、令和9年4月に（仮称）新小松島小学校の開校に向け事業をすすめています。新しい校舎では、さまざまな“つながり”の中で子どもたちが学び、時代に合わせた新しい教育の形を実現する学校づくりをめざしています。

新しい校舎で実現する 4つの“つながり”

教室の枠を超えた学習環境

教室×オープンスペース
学校施設全体が学びの場

図書館を中心につながる校舎

他学級・異学年との交流促進

ICT教育の推進

他学校との遠隔授業・交流の機会を創出

効率的な執務空間づくり

教師間や関係者との連携

小松島市新小学校
施設整備基本計画



AI型ドリル 理解度、つまづきを分析する



令和5年度、小松島市内の小中学校に「AI型ドリル」を導入しています。「AI型ドリル」では、解答内容からAIが理解度を判定し、間違えた原因を推定。復習問題を反復して出題するなど児童・生徒一人ひとりの苦手にあわせた効果的な学習として活用しています。

point

校内のWi-Fi環境を増設するなど、環境面での整備も進行中!



著名人から地元スターまで プロフェッショナルから学ぶ



スポーツや芸術などの分野に精通する著名人や地元スターの方、知識・経験が豊富な各地域の方々による外部人材特別授業を実施しています。子どもたちの知識や技能の向上、豊かな心を育むことを目的とする学びの多い事業となっています。

過去の
登壇者

白井健三さん(元体操競技選手)、住友紀人さん(作曲家・サクソフ・EWI奏者)、入来祐作さん(元プロ野球選手)

EVENT 地域が経験と学びの場へ

食育・知育・体育も学べる [わくわくみなとフェスタ]

過去には、家族みんなで見て、学んで、遊べるイベント『わくわくみなとフェスタ』を開催。大人気料理研究家・コウケンテツさんによる食育に関するトークショーや辞書引き体験、体力測定などを行い、2日間で約2,000名の方が訪れ大盛況のイベントでした。



体験を通して、防災を学ぶ [こまつしま消防あそび]

消防あそびの目玉は、市内小学校に通学する1～3年生を対象とした「こども消防士体験」です。はしご車に乗ったり、放水をしたりと消防士の仕事を体験しながら防災について学べるイベントです。



異年齢で関わり合いながら遊ぶ [こどもの遊び場づくり]

『小松島市立体育館』で年3回開催される「こどもの遊び場づくり」。メインアリーナを使用して、トランポリンや跳び箱などの体操遊び、大玉を使ったボール遊び、お絵描きコーナーなどを実施。赤ちゃんから小学生までが一緒にのびのびと遊べます。



イベントの開催時期など、詳細は随時webサイトに
てお知らせいたします。



ココから、はじまる。



本港地区みなとまちづくり
基本構想

みなと周辺エリア 再開発プロジェクトが始動！

みなとエリアがにぎわい空間に生まれ変わります！

NEW
OPEN



第1弾 SL記念広場が リニューアルオープン

2024年2月3日(土)「小松島ステーションパークSL記念広場」に、インクルーシブ遊具(※)がオープンしました。背もたれのあるブランコ、段差のゆるやかな滑り台などみんなで楽しめる遊具を設置しています。

(※)インクルーシブ遊具とは、体に障がいがある子ども、ない子ども一緒になって遊ぶことができる遊具のこと。



図書館

サウンドハウスホール

未来の小松島市は、より活気にあふれ、
わくわくする街へと
発展していきます。

これからも続く、にぎわいの創出

推進中

みんながここで憩う
場所をつくります



図書館と公園の一体化

図書館にオープンデッキを整備し、子どもが遊べるだけでなく、大人にとっても居心地の良い空間とします。

※写真はイメージです。

coming
soon

みんながここに集う
施設をつくります



親子で遊べる子どもの遊び場



運動や学び・趣味が
楽しめるスタジオ



屋内プール

※写真はイメージです。

小松島の ここがすき。



どこに行くにも便利
住みやすい環境



子育て世代向けの
イベントがたくさんある



お店が
いっぱいある☆



フィッシュカツが
おいしい♪



地域密着！
人とのつながりがある



たぬき公園が
楽しい！

海が近く
海産物が
おいしい！



おいしいお菓子屋さんが
たくさんある♪



ぼくは全部すき！



ここ暮らし

発行／小松島市

徳島県小松島市横須町1-1

■お問い合わせ 0885-32-2111(代表)

2024年2月16日



Facebook



Instagram



X(旧 Twitter)



YouTube



LINE